

## 広報企画事業（ニュースレター・概要・年報）（③企08-13-3/5）

### 目 的

本プロジェクトは研究所の業務に関する情報発信のうち特に紙媒体である『年報』『概要』『ニュース』、および不定期に作成するパンフレットなどの編集・刊行を実施する。また、エントランスにおけるパネル展示などを通じて、来訪者に対しても研究所の活動をわかりやすく伝えることを目指す。

### 成 果

#### 1. 『年報』2012年度版の刊行

2013年5月31日付で年報を刊行した。2012年度版の構成は従来通り、機構、年度計画及びプロジェクト報告、その他の研究活動、個人の研究業績、研究交流、主な所蔵資料、研究所関係資料、東京文化財研究所プロジェクト索引とした。発行にあたっては、各部・センターの年報担当者が原稿のとりまとめを行った。

#### 2. 『概要』2013年度版の刊行

「概要」2013年度版を刊行した。概要は日英2カ国語により、研究所の組織や活動内容を簡潔かつ写真を多用してわかりやすく紹介している。各ページの構成は概要担当広報委員、編集担当および各部・センターの概要担当者の協議によって決定し、原稿のとりまとめは、各部・センターの概要担当者が行った。

なお、「年報」「概要」いずれもPDFファイルでウェブサイトに掲載し、活動内容の情報公開に努めている。

#### 3. 『東文研ニュース』の刊行

『東文研ニュース』を年3回発行した。基本的には、ウェブサイトに掲載した活動報告から四半期ごとの記事を掲載しているが、掲載する記事は各部・センターで選択している。この他、東文研ニュースには、特定のトピックについてまとめた紹介を行うコラムや刊行物の案内、人事異動などを掲載している。なお、54号から英語版と統合し、日本語・英語併記とした。

#### 4. パネル展示の調整

1階エントランスロビーに研究成果を伝えるためのパネルを作成し、展示した。平成25年度は企画情報部による横山大観「山路」に関する展示を実施した。また、26年度に実施する文化遺産国際協力センターの「海外にある日本美術作品の修復事業」（仮題）に関する展示について、パネルを作成し展示準備を行った。

2013（平成25）年3月28日～2014（平成26）年4月 「山路」（企画情報部）

### 研究組織

○二神葉子、田中淳、山梨絵美子、津田徹英、塩谷純、綿田稔、小林公治、小林達朗、皿井舞、城野誠治、中村明子\*1、井上さやか\*1、橘川英規、福永八朗、小山田智寛\*2、高橋佑太\*2（以上、企画情報部）、広報委員（概要）：安孫子卓史\*3、今城裕香\*2（以上、研究支援推進部）、塩谷純（企画情報部）、高桑いづみ、今石みぎわ（以上、無形文化遺産部）、岡田健、佐藤嘉則（保存修復科学センター）、友田正彦（文化遺産国際協力センター）、広報委員（年報）：平出秀文、安孫子卓史\*3、今城裕香\*2（以上、研究支援推進部）、田中淳、皿井舞（企画情報部）、高桑いづみ（無形文化遺産部）、森井順之（保存修復科学センター）、山内和也（文化遺産国際協力センター）、広報委員（東文研ニュース）：安孫子卓史\*3、今城裕香\*2（以上、研究支援推進部）、山梨絵美子、津田徹英（企画情報部）、菊池理予（無形文化遺産部）、北野信彦（保存修復科学センター）、江村知子（文化遺産国際協力センター）

\*1 平成25年10月まで \*2 平成25年7月から \*3 平成25年6月まで